



今年度も幼児教育センターから、ことばや子育てに関する情報をご紹介します。

ことば遊び ～口遊びをしよう～ ①

お子さんが、しっかり食べたり、正しい発音で話したりできるのは、口をしっかり動かすことができるからです。口の使い方を身に付けることで、「食べる力」「話す力」へとつながっていきます。2回にわたって、口の機能を育てる「口遊び」をご紹介します。ぜひ、ご家族みなさんと、遊んでください。

☆口唇を使う遊び

- ・シャボン玉
- ・紙風船
- ・吹き戻し
- ・吹き上げパイプ



遊びによって必要な吹く力は異なります。口をしっかりすぼめて、息の出し方を調節しながら遊びましょう。

☆口の周りをを使う遊び

- ・にらめっこ
- ・かおじゃんけん
- ・ぶくぶくうがい



口の周りや頬をしっかり動かします。手を使ってほぐすことも大事です。

* 次回は「☆舌を使う遊び」をご紹介します。

～子どもと楽しむ行事～

日本には四季折々の行事がありますね。そこには古来から脈々と受け継がれてきた森羅万象への敬服、自然への感謝と共生があります。人々はこの世に存在する全てのものに命や意味があり、八百万（やおよろず）の神として敬ってきました。

これを筆者は、次の世代に受け継いでいく“こころもち”だと思っています。

現代も山や空や土がそこにあります。

季節に咲く花、季節に育つ野菜を育て、雨後の水たまりを喜び、裸足でどろんこ遊びに夢中になり、空を見上げて雲や鳥を指差し、虫や鳥の鳴き声に耳を澄ます。子ども達は五感を使って『身近な自然と共に生きる』（先月掲載）姿を見せてくれます。

豊かな体験が子どもの育ちに重要な事は誰もが信じる事でしょう。

季節の「節」が行事と深く関わっています。

家庭で楽しむヒントになれば嬉しいです。

『お花見』

由来・・・昔の人々は、寒い冬の間山へ行って田の神様が、春になると桜を目印に村へ帰ってくると信じ、桜が咲くと神様が帰って来たと考えたそうです。花見は、平安時代の貴族から桜を愛でるのが主流になり、江戸中期から庶民も楽しむ行事になりました。

宝塚市には、数多くの桜並木がありましたね。それでも散歩できる場所は身近にあると思います。日本人にとって桜は特別な存在。今年はもう咲いたでしょうか。

幼児教育センターは、就学前から小学校教育へつなごます
事と希望のもてる たくさんごを
応援します！

宝塚市教育委員会 幼児教育センター

〒665-8665 宝塚市東洋町1-1

電話 0797-71-1141(市役所)

0797-77-2132(直通)

FAX 0797-71-1891

E-mail m-takarazuka0289@city.takarazuka.lg.jp



★ 発達、就園・就学等の相談がありましたら、上記にご連絡ください。

